司書のすすめる本シリーズ⑱

これな本が図書館にあるよ～

『嵐にいななく』

子ども向けの本

L.S.マシューズ：作　三辺律子：訳　　小学館

便利ですが、物があふれる現代。もし、自分たちの使うものが制限され、減らさなければいけない社会になってしまったら…。人間や家畜の数も制限され、馬は運送業に使う場合にしか飼うことができない社会が、この本の舞台となっています。

物語は嵐によって引き起こされた洪水が、主人公ジャックの住む村をのみこんでいくという緊迫したシーンから始まります。新しい土地に引っ越したジャックは、隣の家に住むマイケルと出会います。病弱なマイケルとジャックは、郵便配達人のサイモンとその荷馬車をひく馬をいっしょに見たことをきっかけに親しくなっていきます。ある日、ジャックは馬具をつけるのを嫌がり、役に立たないため処分を待つだけの馬と出会います。ジャックとマイケルは馬を救うため、サイモンの助けをかりながら、荷馬車をひけるように訓練します。しかし、暴れて人に危害を与える危険性は解消できないままでした。その矢先に竜巻が村を襲い…。

ジャックの視点とマイケルの日記で展開する構成とさまざまな問題提起を内包しているストーリーは、やや複雑ですが、ティーンズ世代の方におすすめしたい作品です。

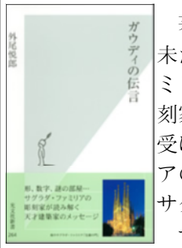
諦めずに馬の調教を続けるジャックの成長や、ジャックと関わっていくことで変わっていくマイケルの様子が丁寧に描かれています。読み進んでいくうちに、頭の中で自分なりのジャックとマイケル像ができていきます。やがてくる結末。その時、エッと思う設定が用意されています。その意外性も含め、午（ウマ）年最初の一冊として、いかがでしょうか。くれぐれも最後から読まないでくださいね。

（川内　直美）

『ガウディの伝言』

大人向けの本

外尾悦郎著　光文社　2006年



著者の外尾氏は着工から130年経った現在も未だ完成されていない大聖堂サグラダ・ファミリアで、その製作を託されている日本人彫刻家です。この本は建築家ガウディの意志を受け継ぎながら、28年間サグラダ・ファミリアの制作にあたっている著者が、ガウディとサグラダ・ファミリアの魅力を語った本です。

サグラダ・ファミリアはガウディの亡き後、スペイン市民戦争により一部破壊され、図面も模型も焼かれます。著者が働きはじめた当時は、観光客もまばらでした。働きはじめて一年経ったとき、大きな仕事が与えられます。それは植物の芽をかたどった彫刻を彫るというもの。ただ基になる図面の模型もない、何の植物かもわからない。著者はわずかな手掛かりのなかで彫刻を完成させます。ガウディは何をつくろうとしたのか、どんなメッセージを彫刻に託そうとしたか。ガウディが遺した完成部分から、知恵や発想、技術、方法と出会い、託された想いを感じとり、それを制作につないでいく。まるで探偵のようです。

ガウディは職人たちの創意工夫や発見を大切にし、常に良いものを作ろうとしました。ガウディがサグラダ・ファミリアで過ごした最後の夕方、仕事を終えた職人たちに向かってこういったそうです。「諸君、明日はもっと良いものをつくろう」。

時空を越えてガウディのサグラダ・ファミリアに込められたメッセージを読み解き、もっと良いものにするというガウディの精神が今も人から人へ受け継がれているのです。それが今まさに生き続けるサグラダ・ファミリア。読んでいると胸が高鳴る。そんな一冊です。

（尾崎知栄）

・・・私たちファン倶楽部のおすすめ本・・・

『こっぷ』

谷川俊太郎 作　今村昌昭 写真　福音館出版

1976年初版の科学絵本。でも、全然古さを感じない。「こっぷはみずをつかまえる」「こっぷはけむりもつかまえる」「こっぷははえをつかまえる」「こっぷははんにんもつかまえる」…虹も作れるし、歌も歌えるこっぷ。セピア色のノスタルジックな写真とともにページをめくるたび、思わぬ視点にびっくり。こんな風に見えるんだ！という純粋な驚きと笑いもあり、いつものガラスの「こっぷ」が、とても愛しく思えてきます。（三田）

「はじまりは図書館から」

著：草谷桂子　子ども未来社刊、

静岡の図書館問題でご活躍の草谷桂子さんの新刊。ぜひ皆様よんでください。図書館は地域の人を育てることを。図書館や文庫で育った草谷さんならではの本です。よろしく！（長野ヒデ子）

むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく…

「井上ひさし　希望としての笑い」

高橋敏夫著　角川SSC新書　2010年

企業の広報誌「GRAPHICATION」で連載する著者を知った。主に時代小説を評論して、難しいのだけど読後不思議に爽快になる。本書は、井上ひさし氏亡き後の評論。井上作品150冊を読みこなし、「希望としての笑い」をキーワードにまとめられた力作だ。はじめにとして、「井上ひさしが亡くなって、一世界が少し暗くなった。一世界が少し不機嫌になった。一世界はまた少し困難さをました。…」。「残された言葉があれば私たちは生きていける。」今、井上作品に出会うことを促している。（ち）

「猫語の教科書」

著：ポール ギャリコ,訳：灰島 かり(ちくま文庫)

この本との出会いは、他の本かネットの記事で文章の一部が紹介されていたのを読んだのがきっかけだった。著者の代表作は映画化もされた「ポセイドンアドベ ンチャー」など。彼は猫好きでも有名な作家で「ジェニィ」など猫を主人公にした作品も世界中の猫好きに愛されている。本書は人の家に住む飼い猫の視点から書かれたもので、猫を飼ったことのある人ならページをめくるごとに「あるある！」を発見して楽しめる。また、猫はどうもニガテ・・・という人にも、人間の本質を問いかける、意外に深い哲学的な内容に感心するはずだ。「声なしのニャーオ」・・・どんな表情か、想像がつくだろうか？どんなときに猫はこのワザをつかうのか？本書を読みたくなったあなたは、もう猫に支配されはじめている！市立図書館所蔵。（溝井）

図書館で知の旅へ

画：江幡正之

つづき図書館ファン倶楽部通信 vol.40

2014年・初春号
■特集：「もうひとつの図書館を作る夢」
■発行：つづき図書館ファン倶楽部
■住所：〒224-0053
横浜市都筑区池辺町7003-2-801若杉隆志気付
tel:080-6739-1139e-mail:twaka@m5.gyao.ne.jp
■ http://tsuzuki.libraryfun.net/
■年会費：一口1,000円　■定例会：月一回

■つづき図書館ファン倶楽部は

2000年３月都筑区制５周年記念として都筑図書館が「シンポジウム」を開催。参加した区民サポーター有志で図書館の価値を広める目的で結成しました。

私と図書館

「学生時代の甘い想い出の場所」

都筑区社会教育指導員　河原恭子

私が「図書館」と聞いて思い出すのは、若かりし頃の懐かしい記憶だ。高校時代に付き合っていた彼と、学校帰りに待ち合わせをしていたのが図書館だった。静かな空間で自分の好きな本を読みながら、大好きな人を待つ…その時間がとても好きだった。

その後長い間、読書はするものの、図書館にはめっきりと足を運ばなくなっていた。それが、３年前に今の仕事に就き、図書館と私の関わりは大きく変わった。

現在、都筑区社会教育指導員として、社会教育・生涯学習支援に携わっている。仕事を進める中で、「調べたいこと」「知りたいこと」が山ほどある。そんなとき、都筑図書館に足を運び、レファレンスサービスを利用し、必要な資料や情報を探していただくことがよくある。少しのキーワードからでも、数多くの資料を引き出してくれる司書の存在は、私たち職員にとっても心強い。

先日は、都筑区内にある公園の名前の由来について、漢字を調べるために図書館に足を運んだ。そこでも司書の方から「大漢和辞典で調べてみたら」とアドバイスいただき、知りたかったことがすぐに解決した。

これからも、ますます図書館に足を運び、「図書館から広がる世界」を味わい楽しみたいと思う。

都筑図書館より行事のお知らせ

都筑図書館　〒224-0032市内都筑区茅ケ崎中央32-1
TEL:948-2424・FAX948-2432
http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/chiiki/tsuzuki/

【展示】

（場所の表記がないものは都筑図書館が会場となります。）

●図書展示「つづき　あい展」
期間／２月１日(土)～２月15日(土)
連携／都筑区福祉保健課事業企画係

●戦争の記憶と平和の尊さを次世代へ伝えるパネル展
期間：2月18日（火）～26日（水）
連携：神奈川県保健福祉局福祉部生活援護課
援護グループ

●防災関連展示
期間：3月1日（土）～3月11日（火）【予定】
連携：都筑区役所区政推進課

●「市内大学と地域がつながるまち」パネル展
期間：3月12日（水）～3月24日（月）
連携：横浜市政策局大学調整課

●「図書館はあなたを守りたい」
～自殺予防パネル展～【仮称】
期間：3月25日（火）～3月31日（月）
場所：都筑区役所区民ホール
連携：横浜市健康福祉局こころの健康相談センター

●企画図書展示
「外尾悦郎氏とサグラダ・ファミリア」
期間：4月1日（火）～4月14日（月）
連携：横浜都筑文化施設プロジェクト

【おはなし会】

○定例親子おはなし会
くまさんのおはなし会
日時：２月13日(木)、３月13日（木）
①10:00～10:25②10:45～11:10
（①②ともに同内容）
会場：都筑図書館　対面朗読室
内容：保護者の方と乳幼児が一緒に楽しめます。
絵本やわらべうたを紹介。
対象：２，３歳児および保護者　各回先着１０組
申込：２月１３日開催分は１月３０日(木)
３月１３日開催分は２月２７日(木)
各９：３０～窓口またはお電話で。

○定例おはなし会
日時：２月19日(水)、3月19日（水）午後３時30分～４時
場所：都筑図書館対面朗読室
対象：ひとりでおはなしをきける子
（保護者のつきそいをご希望の場合は事前にご相談ください。）
申込：当日、直接会場へ

○子ども読書の日特別おはなし会【予定】
日時：4月27日(土)　午前
場所：都筑図書館対面朗読室
※申込など詳細はポスターや広報などでご案内していきます。

もうひとつの図書館を作る夢

都筑区の真ん中に
文化施設の
予定地があります。
私たち
つづき図書館
ファン倶楽部は
ここに
まちづくりの
核となる
図書館を含む
公共文化施設を
つくることを
夢見ています。

都筑図書館の貸出冊数はミリオン超え～～！！

都筑図書館は年間百万冊を超え市内図書館ではトップ、野毛の中央図書館をも上回ります。ミリオン超えの図書館は全国的にもそう多くはありません。

横浜の図書館は…

しかしながら横浜市は日本の図書館レベルを押し下げています。１区に１館という制度になっており、人口370万人に対し18館しかありません。都筑区の人口20万人に対し図書館が１館しかないことも、利用の多い理由のひとつです。全国的に見ると人口４万人に１館の割で図書館があります。全国の政令指定都市20を比較すると、図書館１館あたりの人口では横浜は下から２番目、図書資料費も下から２番目、横浜は文化都市のイメージがありますが、こと図書館に関しては残念ながら非文化都市です。

他の都市は…

川崎市は昨年武蔵小杉駅直結のマンションに２フロアを占める中原図書館を開館しました。町田市でも昨年鶴川駅前図書館が開館しました。

横浜で図書館が建設されたのは19年前の緑図書館と都筑図書館。そこで横浜の図書館づくりは止まっているのです、20年近くも。

横浜とよく比較される神戸市も川崎市も１区１館ではありません。人口が多く区域が広い区には複数の図書館を設置しています。どこの自治体も財政的には厳しいものの市民ニーズに応え図書館を整備しているのです。

〈参考〉
横浜市の図書館貸出上位館(平成23年度)

図書館	蔵書数	貸出冊数	(児童書)
市全体	3,817,207	10,476,324	3,168,352
中央	1,538,816	1,038,352	141,322
都筑	**159,753**	**1,089,950**	**415,822**
山内	152,078	694,503	229,273
緑	124,137	663,568	217,340
戸塚	161,848	641,561	171,746
港北	152,331	618,878	203,403

政令指定都市比較(平成２３年度)

	図書館１館当たり人口	市民１人当たり	
		資料費	貸出冊数
２０市の平均	118千人	140円	4.8冊
横浜市	205千人	62円	3.1冊
順位	19位	19位	19位

『横浜市の図書館2013（横浜市立図書館年報）』をもとに作成

図書館はいつもワクワクな場所

いつも活気があって明るく開放的、老若男女誰でもいつでもwelcome、とりたてて目的がなくとも気軽に入れる。こういうオープンな公共施設は図書館をおいてほかにありません。

書架を歩けばワクワクする楽しい本や先人の知恵がつまった本と出合え、より豊かに生きるヒントと力を与えてもらえます。もちろん一人でも楽しめるし、人との出会いもあります。図書館は知の拠点、知の広場といえましょう。

動きだした～！横浜の図書館

横浜では昨年「読書条例」が制定され、今年４月に施行されます。また、市内の小中学校に長年の念願だった学校司書の配置が始まり、２年後には全校に学校司書が配置されます。学校で読書習慣を身につけた子どもたちを地域で受け入れるのは公共図書館です。

ようやく横浜の図書館が動き出しました。都筑からこうした市の動きに連繋し、市民と行政の協働でまちづくりの核となる公共空間をみんなでデザインしていきませんか。

つづき図書館ファン倶楽部代表
若杉隆志

※昨年11月3日、センター北『都筑の文化夢スタジオ』で行われた、文化施設の早期建設を願うイベントで、つづき図書館ファン倶楽部がアピールをした内容の要約を掲載しました。

このごろの…都筑図書館 20 「『エパミナンダス』の人だ！」

ファン倶楽部通信をお読みの皆さま、はじめまして。麻生耕平と申します。

私は生まれも育ちも東京ですが、大学を卒業した後で両親の故郷である兵庫へ移り、一年間だけ兵庫県立図書館で臨時職員として働いていました。最初の半年は利用者さんと接するカウンター業務に、後の半年は書誌作成や本の装備といった裏方的な業務に携わりましたが、児童サービスにはほとんど関わってきませんでした。

その後、横浜市の司書として正規採用され、最初の配属先として都筑図書館へ来たのですが、お子さま連れや小学生の利用者さんから頻繁に寄せられる児童書関係の問い合わせには苦戦してばかりです。児童書に関する知識も経験も乏しい私は、「こういうテーマの絵本やお話を探してます」と相談を受けても、なかなか的確なお答えをすることができません。後になってから「ああ、この本をお薦めすればよかった」と悔やむことが何度もありました。

ですが嬉しかったこともあります。小学校へ行き、一年生の前でおはなしをした時のことです。私が語ったのは『エパミナンダス』というおはなしで、エパミナンダスという名前の男の子が主人公のユーモラスな内容でした。これが予想以上に大好評で、後日図書館へ本を借りに来てくれる生徒さんが何人も居ました。特に、お母さんと一緒に窓口へ来た女の子が私を見て、「『エパミナンダス』の人だ！」と言って笑顔を見せてくれたことは忘れられません。

自分なりの努力が利用者さんの笑顔につながること。そのことが励みとなって、毎日私を支えてくれています。まだまだ未熟者ではありますが、これからもよろしくお願いいたします。

麻生耕平

都筑図書館の未来を描く協働の会（ＴＭＥＫ=ティーメック）

平成24年12月に発足した「都筑図書館の未来を描く協働の会」(略称：TMEK【ティーメック】)を紹介します。

ＴＭＥＫは「つづき図書館ファン倶楽部」「つづきっこ読書応援団」「つづきアーカイブクラブ」「つづき交流ステーション」に所属するメンバーの一部が参加し、地域と図書館とが協働して、本の魅力を通じて地域を活性化していくことを目的として活動しています。

月例の定例会で意見交換を進めるとともに、昨年は２つの大きなイベントを協働で実施しました。9月7日には、都筑区民ホールでの「ビブリオバトルｉｎつづき（知的書評合戦）」、10月5日には「つづき再発見～昔も今もニュータウン　わが家の下に遺跡がある！？」を実施し、大勢の人が集まりました。

今年は都筑図書館創立20年を祝う記念行事の検討をはじめたところです。平成7年4月25日が誕生日ですから来年は二十歳。人間で言えば成人です。この機会に、地域の読書・文化・まちづくり活動の拠点として、また、子どもたちの伸びやかな成長を育む存在としての図書館を目指して、都筑の未来を都筑図書館から描く協働のムーブメントをご期待ください。　（福富）

絵：遠藤道子

つづきっこ読書応援団（TDO=つどおう）は‥

「都筑区の子どもたちの読みたい気持ち・知りたい気持ちを高めるため、読書環境の改善を図る」を目的に、3つの部会で活動しています。

《TDO事務局より》
リユース図書が表彰！！

学校部会が中心となり、都筑区役所とも連携して成果をあげているリユース図書の活動が認められ、昨年12月に横浜市より、横浜３Ｒ夢推進グループとして表彰されました。

今年も３月１６日（日）区役所総合庁舎１Ｆリサイクルボード前で、リサイクル図書回収を行います。回収した本は、都筑図書館をはじめ、都筑区内の学校他に配布しています。皆様のご協力をお願いいたします。

１月以降の図書館との協働の予定（各部会企画の行事は含まず）は、都筑図書館主催で２/１１（祝）ぬいぐるみお泊りおはなし会、４/２７（日）春の特別おはなし会、８/２３（仮）夏の特別おはなし会、１１月秋の特別おはなし会。都筑区役所主催で、６/１４（土）食育イベントおはなし会が予定されています。

各部会の企画も目白押し！

学校部会
絵本や児童書のリユース図書が定着するように工夫を考えていきます。

勉強部会
絵本勉強会『マドレーヌ』が２月より２期目になります。７月１９日には、夏休みの親子むけ『ふろしき』の講座も予定しています。

企画部
今年も３月９日(日)にセンター北駅前広場で開催される「わすれない3･11交流広場」で『青空図書館』を開きます。４月は北山田地区センター主催の親子の絵本講座に協力します。

JiJi・BaBaおはなし隊
隔月の北山田地区センターの『jiji･BaBaおはなし会』に加え都筑図書館の絵本コーナーでの『読んであげますよ～』も隔月で定例化する予定です。

ＴＤＯ代表　三田律子

つづき図書館ファン倶楽部メンバーのコノゴロ no ココロ

- 年金生活になったので去年、10年乗った車を維持費の安い軽自動車に変えた。ところがなんと50％も税金を上げるとのこと。2015年購入分からとのことだが、庶民のやりくりからも税を搾り取るやり方にプリプリ！　（わ）
- 小学校の学校司書になって４カ月。学校にも大分慣れてきました。すぐにできたこともあれば、なかなかできてないこともあり、毎日が勉強です。図書室⇒図書館への道を少しずつ進行中。（紀）
- 夕食の献立に悩む。バリエーションも必要だしダイエットも、財布の都合もあるし野菜炒めでいいか、なんてね。冬は鍋物という手がある。最近は色々な鍋のスープが出ているし。でも家族の帰りがバラバラだとむつかしい。（吉）
- 昨年まで「頑張らない」を目標にかかげてきたが、今年は「１日１日充実した悔いの無い時間に！」と。自分なりに一つでも充実したものがあればよしとする。[笑]とは一人では出来ない。人と関わってお互いに共有しないと…。（井上ひさしさんの文章から）感銘をうけました。soon
- 昨年、話題の武雄市図書館を見学した。図書館というより「ＴＳＵＴＡＹＡカフェ」であった。お隣の伊万里市民図書館に行きほっとした。ここの「図書館フレンズいまり」は、10年前ファン倶楽部設立時に参考にさせていただいた。今年も都筑図書館と協働で頑張ろう。（福）
- 先日『ニルスのふしぎな旅』のＴＶアニメを観たら昔の再放送だった。むかし本も読んでいるけれど、頭の中では、全く別のもので記憶していたらしい。あーまた本でじっくり読みたくなってきた。（み）
- 昨夏よりフィットネスに通い始め、新年早々に自転車を買って寒風吹きすさぶ中、快調に街中をかっ飛ばしている。今年こそは健康に過ごすぞ！（溝）
- 子どもたちが大きくなると、手はかからなくなるが金はかかる。夫が７年単身赴任し、マンションを２つ借りている我が家の家計は火の車。そこで夫が会社からは遠いが海からは30秒の、実家へ引っ越してくれた。ありがとう！（仁）
- 一昨年オープンした鶴川駅前の音楽ホールと図書館の複合施設を見学した。町田市42万人口で７館目の図書館とはうらやましい。公共施設、特に図書館はできあがるまでの声の反映がカギだと関係者からのアドヴァイス。あって良かったという未来施設を、考えよう。（え）